

保谷駅前公民館

合併10年を検証する

地方財政分析の学校

西東京市が誕生してから10年が経ちましたが、私たちの暮らしはどう変わったのでしょうか。市の財政の変遷はどうなっているのでしょうか。地方財政の基礎からじっくり学び、それぞれに最も関心のある項目について調べてみませんか。

▼とき別表のとおり

木曜日 14時～16時30分

▼ところ＝保谷駅前公民館

▼対象＝市内在住・在勤・在学者

▼定員＝20人(申込順)

▼講師＝大和田一紘(NPO法人多摩住民自治研究所理事長)

▼申込＝6月2日(木)10時から

電話で保谷駅前公民館へ

回	月日	内容
1	6/23	開校、「地域を知り、安全に暮らすために財政を学ぶ」
2	6/30	財政を知ることのできる資料
3～4	7/14、28	基礎コース 決算カードの読み方
5～6	8/18、25	様々な財政指標を読む
7	9/1	経常収支比率・地方交付税等について
8～9	9/29、10/6	合併の財政の仕組み
10～12	10/13、11/10、12/1	合併を振り返ってみる
13～15	12/15、1/19、2/2	財政健全化法・合併特別債等について
16	2/16	テーマ別のまとめ
17	3/1	課題の再確認
18～19	3/8、15	製本、印刷
20	3/22	「合併10年を検証する」まとめの発表会、閉校

講座のうち4回は自主学習の予定

柳沢公民館

したのや縄文キッズくらぶ

縄文の世界にタイムスリップ!

縄文土器を作ったり、下野谷遺跡を探検したりしながら、縄文の世界に行ってみよう。

▼とき・ところ＝別表のとおり

10時～12時(3回・4回は9時～17時)

▼対象＝市内在住、在学の小3年生～6年生

▼定員＝15人(申込順)

▼講師＝亀田直美(西東京市教育委員会文化財専門員)

▼申込＝6月6日(月)15時から

電話で柳沢公民館へ

回	月日	内容	場所
1	6/26(日)	縄文時代を知ろう! 土器どき観察会	東伏見市民集会所
2	7/9(土)	考古学者のお仕事体験	柳沢公民館
3	7/30(土)	縄文土器をつくろう!(9時～17時)	東京都埋蔵文化財センター
4	8/21(日)	縄文土器を焼こう!(9時～17時)	東京都埋蔵文化財センター
5	9/10(土)	下野谷遺跡探検	下野谷遺跡公園

保谷駅前公民館

「今の若者」から読み解く現代社会

車を買つより習い事を、結婚よりも安定した仕事を求める若者たち。現代の若者の価値観やライフスタイルの変化にスポットを当てながら、社会全体しくみや課題を探ります。

▼とき別表のとおり 土曜日 10時～12時

▼ところ＝保谷駅前公民館

▼対象＝市内在住・在勤・在学者

▼定員＝25人(申込多数の場合は抽選)

▼申込＝電話かメールで6月12日(日)までに保谷駅前公民館へ

「メールでの申込」

①メールアドレスは1面参照

②件名「現代社会講座申込」

③本文「氏名・電話番号・住所」を明記してください。

*後日確認メールを送ります。

回	月日	内容	講師
1	6/18	なぜ若年の未婚化はすすむのか	松田茂樹(第一生命経済研究所 主任研究員)
2	7/2	「若者」の消費に関する5つの誤解	松本泰明(M1・F1総研 主幹研究員)
3	7/16	雇用弱者になる若者たち	高橋康二(労働政策研究・研修機構 研究員)

谷戸公民館

土に触れながら、農業の現状と食の安全・安心を考える 『農業を知る講座』

都市近郊農業の現状と果たす役割や、環境面から見た農業と食物・文化について学びませんか?

種まきから、収穫までの一連の作業を通じて、「土」との関わりや、「食へる事」「生きる事」を考えましょう。

▼とき＝6月18日～3月24日 土曜日 10時～12時(夏季は8時30分～10時30分) 全42回

*学習内容により時間の変更あり

▼ところ＝谷戸公民館及び住吉町二丁目の畑

▼対象＝市内在住で初めて農業講座に参加される方

▼定員＝27人(申込順)

▼講師＝小松光一(法政大学講師)、小野紀之(環境教育)

「ディネーター」、保谷隆司(市内農家・農業実技指導及び講義担当)、菜の花工

▼種苗代等＝千500円

▼申込＝6月3日(金)10時から

電話で谷戸公民館へ



柳沢公民館

第26回 ロビーコンサート

今年度最初のロビーコンサートを開催します。今回は「フルート」「女声合唱」をお届けします。お楽しみに!

なお、昨年度のコンサートの写真展も実施します。ぜひ、お誘い合わせの上、お越しください。

▼写真展

▼とき＝6月11日(土)11時～18日(土)17時

▼ところ＝柳沢公民館

▼出演＝フタバアンサンブル・シンフォニー

※直接会場へおいでください。



サークル訪問

NEWカレッジ広場

活動の原点は平成19年度田無公民館主催講座「田無カレッジ」から生まれたサークルです。この会は、「貴重な経験を伝え合う、学び学び合う、集つ、楽しむ」をモットーに会員の元気と絆を高め、活動を通しての経験を活かし、地域社会に貢献するを目標として、三つの活動の場を設けています。

- 一、学ぶ学びあう場
- ・会員自身が発表(自由テーマ)
- ・外部講師による学習会
- ・会員が立ち上げた活動

- 二、地域福祉活動の場
- ・地域のイベントへの参加
- ・地域福祉活動への参加
- ・環境工「活動への参加

- 三、遊々の場
- ・バードウォッチング、歌声喫茶、懇親会、忘年会、その他

会員の発表の場では、環境力ウンセラの森代表から、地球温暖化問題の講義や「四国八十八ヶ所、歩き遍路の魅力語り」の体験談を。民生委員として活躍する島山氏からは、増え続ける独居老人問題に対する、見守りと社会参加を促す実践活動報告を聞きました。

遊々の場では、日本野鳥の会指導によるバードウォッチングを体験しました。楽しく学んで

お詫言と訂正

5月1日号のサークル訪問に掲載した「さわやか体操教室」の連絡先は正しくは見津 ☎ 422・2666 でした。ここに お詫言して訂正します。



バードウォッチングで楽しいひととき

います。

30名の会員の大多数は、他のサークルにも参加し、地域活動にも参加しています。

「カレッジ」記者、「田無公民館あめんぼ青年教室」のスタッフ。「金曜会」および「豊かな老い」を考える会」で活躍する会員。農業講座と援農ボランティアで活動するメンバー。エコープラザ協力員。会員同士が立ち上げた「シニア英語クラブ」で磨いた会話を「外国人に日本語を教える会」に活かす会員。

多彩な人材が、行動力を発揮して、地域社会に貢献をしている様子を伺い、更なる今後の活動が楽しみです。

連絡先＝代表 ☎ 090・3244・1549